

ホタルを守ろう!!

幻想的な光を放ち飛び回るホタル

■ホタルの集い

平成22年5月15日(土)、19時30分から、大崎町ホタルの会案内のもと2月に放流した岡別府地区水田近くの澤で、ホタルの鑑賞会が開催され約100人が集まりました。

放流の成果が、現場ではゲンジボタルが淡い光を放ち飛び回っていました。ホタルの乱舞を鑑賞しながら、同会員桑水流持留小学校長より、活動の経緯やホタルの生態などの説明が行われ、自然環境の大切さなども学びました。

参加者は、ホタルの輝きに心を奪われ、幻想的な初夏のひとときを過ごしました。

また、この日は、ヘイケボタルも確認でき、参加した子ども達は持留が自然に恵まれていることや、自然の大切さを実感したのではないのでしょうか。



▲ホタルを観察する会員と児童



▲児童生徒にホタルについての知識や自然保護への関心を高めてもらいたいと作られたコーナー【持留小学校図書室】H21年風景

■ホタルを通じて環境を考える

ホタルは環境汚染のバロメーターとも呼ばれ、水のきれいな自然の中でしか生息できません。

私たちの日常生活のなかにも、自然環境にとって好ましくないことがいくつもあります。家庭廃水、ゴミのポイ捨てなども、めぐりめぐって、川などの水質を悪化させ、生き物がすめない状態にしてしまいます。いつまでもホタルの光がみられるよう、生態系を守りましょう！

■観察はマナーを守って

ホタルは、ささいな環境変化でも生息できなくなるほど、デリケートな生物です。

水と土の中で長い期間を過ごし、成虫となって空を飛べるのは、わずかに1〜2週間だけです。

今後ホタルが生息できる環境を残していくために、観察の際は、マナーを守ってください。

ホタルを鑑賞する時のマナー

☆懐中電灯やカメラのフラッシュなど光を当てないでください

☆川や田にタバコやゴミなどを捨てないでください

☆ホタルを連れて帰らないでください



▲希少生物がいつまでも生きられるような美しい自然を残そうと設置された看板【持留・岡別府地域保全協議会】